

自動化ソリューションブースを新設

「2026中部パック」22日(水)から

ポートメッセなごや第1展示館で

中部包装食品機械工業会会長 生田湧希氏・フジカイ社長(主催)の「2026中部パック」が4月22日(水)25日(土)の4日間、名古屋港区のポートメッセなごやで、『想像から創造へ』新たなパッケージのカタチをテーマに開催される。初出展の52社を含む219社の630小間に出展し、3月30日現在、新製品や新技術を紹介する。中部パックは、包装食品・製パン製菓・物流機械・衛生・環境・検査機器、包装資材、食品材料などの総合展。1979年の第1回名古屋包装食品機械展開催以来、隔年で開かれ、原料から加工製造、包装、流通、資源再利用まで一帯に展示する展示会へと発展してきた。第25回目となる今回は、ポートメッセなごや第1展示館を会場に、前回展を上回る開催規模で行われる。来場者数5万人を目標としている。

2026中部パックでは新たな企画として、「部品メーカー、DX・AIをはじめとする自動化ソリューションブース」を設置。データ・デザイン、FingerVision、さら、ホンダテックスの4社が出展を予定し、人手不足解消や作業効率改善、省エネなどにつながる自動化ソリューション、DX促進のための提案などを行う。24日(金)の主権者セミナーでは、名古屋産業振興公社名古屋市新事業支援センターのロボットコーディネーターによる「人手不足解消の切り札はロボット導入」と題したセミナーを開催。併せて、同社の出展ブースでは会期中、ロボットの導入支援に係る相談にも対応する。



想像から創造へ
新たなパッケージのカタチ

CHUBU PACK
2026中部パック

2026 4/22(水) - 25(土)
10:00-17:00
(25日は16:00まで)

包装・食品・製パン製菓・物流機械・衛生・環境・検査機器・包装資材・食品材料など総合展

2026中部パック

会場: ポートメッセなごや 第1展示館 主催: 一般社団法人 中部包装食品機械工業会

2026年1月の産業機械受注高 前年同月比8.9%減の3531億円

日本産業機械工業会(会長 川金花芳則氏・川崎重工業会長)が3月16日発表した2026年1月の産業機械受注高は、前年同月比8.9%減の3531億円(9000万円)で、9か月ぶりに前年を下回った。

内需は、前年同月比12.3%減の2288億2300万円、このうち製造業向けが12.1%減、非製造業向けが30.5%増、官公需向けが55.5%減、代理店向けが1.1%減だった。

外需は、前年同月比13.2%増、運搬機械(32.7%増)、変速機(3.3%増)の3機種。減少した機種は、ボイラ・原動機(15.4%減)、鋳山機械(11.2%減)、化学機械(6.0%減)、タンク(74.4%減)、プラスチック加工機械(54.2%減)、ポンプ(2.7%減)、送風機(27.0%減)、金属加工機械(2.9%減)の9機種だった。

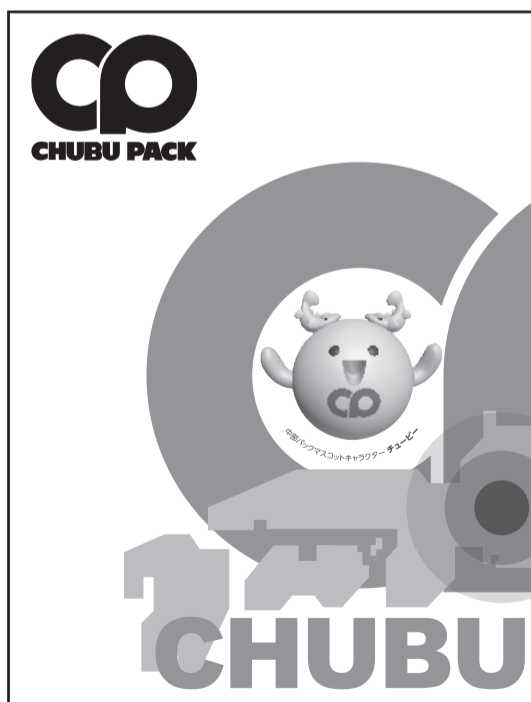
会期中は、時代に即したテーマで定評のある特別講演会(3講演)をはじめ、地元食品メーカーによるAI・フードテクノロジーなどの活用における今後の展望についてのセミナー、毎回好評の実演セミナー(試食付き)、出品社によるプレゼンテーションセミナーなど多彩なセミナーを予定。また、引き続き農林水産業の6次産業化を支援する東海農政局のブースや、商品の試食・販売コーナー「チューピーマルシェ」を設置するほか、「包装相談所」開設、「解決ポイント」設置により来場者の解決したい悩みにも応える。

最終日の25日(土)には名古屋観光交流特命大使として地域文化の発展に貢献しているアイドルユニット「deia(デア)」のトークショー&LIVE、握手会といった楽しいイベントも行われる。また、学生が制作する企業PR動画のコンテストも企画されている。

展示会の開催時間は午前10時～午後5時(ただし、25日(土)は午後4時まで)。詳細については公式サイトhttps://chubupack.or.jp/で確認できる。YouTube、LINE、InstagramなどのSNSでも展示会情報を発信する。

3月30日にウイック愛知で開かれた2026中部パックの記者発表会では、生田会長が包装機械・食品加工機械業界の現状について話した。「ユーザーと向き合う中で、大切にしているポイントは①生産効率の向上②コスト削減③製品品質の確保。これらを念頭に置きながら、変化に柔軟に対応できるメーカーであることが求められている」とし、変化し続ける消費者ニーズへの対応、電子商取引市場の急速な拡大に伴うグローバル化への対応、エネルギー効率の向上・排出量削減・リサイクル可能素材への対応といった課題に加えて、「原材料費・人件費・物流費の高騰、円安や原油価格の影響などにより、食品業界を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。その中においても製品品質を維持し続けることが求められており、ユーザーと課題を共有し、共に解決策を見出していく姿勢で取り組んでいる」と説明。中部地区はものづくり発信の地であり、2026中部パックでは地域性を活かして「出品社と来場者の出会いが新たなビジネス創出へとつながる展示会にしたい」と抱負を述べた。

吉田真治2026中部パック実行委員長(フジカイ社長)は、今回のテーマについて「出品各社が未来のために頭の中で想像し、材料や設備、仕組みを創造していく展示会を目指している。これからの『食品』の未来を創造するユーザーが、原料から生産、包装、流通、廃棄までの一連にかかわる設備、商品、資材を、幅広い視点で見て、展示会の概要を説明。今回から新たに副実行委員長を務めている、加藤寛貴氏(東陽機械製作所常務)と渡辺洋之氏(ワタナベフーマック副社長)より、今展の特長、講演会・セミナー・各種企画などが詳しく紹介された。



想像から創造へ
新たなパッケージのカタチ

CHUBU PACK

会期中は、時代に即したテーマで定評のある特別講演会(3講演)をはじめ、地元食品メーカーによるAI・フードテクノロジーなどの活用における今後の展望についてのセミナー、毎回好評の実演セミナー(試食付き)、出品社によるプレゼンテーションセミナーなど多彩なセミナーを予定。また、引き続き農林水産業の6次産業化を支援する東海農政局のブースや、商品の試食・販売コーナー「チューピーマルシェ」を設置するほか、「包装相談所」開設、「解決ポイント」設置により来場者の解決したい悩みにも応える。

3月30日にウイック愛知で開かれた2026中部パックの記者発表会では、生田会長が包装機械・食品加工機械業界の現状について話した。「ユーザーと向き合う中で、大切にしているポイントは①生産効率の向上②コスト削減③製品品質の確保。これらを念頭に置きながら、変化に柔軟に対応できるメーカーであることが求められている」とし、変化し続ける消費者ニーズへの対応、電子商取引市場の急速な拡大に伴うグローバル化への対応、エネルギー効率の向上・排出量削減・リサイクル可能素材への対応といった課題に加えて、「原材料費・人件費・物流費の高騰、円安や原油価格の影響などにより、食品業界を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。その中においても製品品質を維持し続けることが求められており、ユーザーと課題を共有し、共に解決策を見出していく姿勢で取り組んでいる」と説明。中部地区はものづくり発信の地であり、2026中部パックでは地域性を活かして「出品社と来場者の出会いが新たなビジネス創出へとつながる展示会にしたい」と抱負を述べた。



想像から創造へ
新たなパッケージのカタチ

CHUBU PACK

会期中は、時代に即したテーマで定評のある特別講演会(3講演)をはじめ、地元食品メーカーによるAI・フードテクノロジーなどの活用における今後の展望についてのセミナー、毎回好評の実演セミナー(試食付き)、出品社によるプレゼンテーションセミナーなど多彩なセミナーを予定。また、引き続き農林水産業の6次産業化を支援する東海農政局のブースや、商品の試食・販売コーナー「チューピーマルシェ」を設置するほか、「包装相談所」開設、「解決ポイント」設置により来場者の解決したい悩みにも応える。

3月30日にウイック愛知で開かれた2026中部パックの記者発表会では、生田会長が包装機械・食品加工機械業界の現状について話した。「ユーザーと向き合う中で、大切にしているポイントは①生産効率の向上②コスト削減③製品品質の確保。これらを念頭に置きながら、変化に柔軟に対応できるメーカーであることが求められている」とし、変化し続ける消費者ニーズへの対応、電子商取引市場の急速な拡大に伴うグローバル化への対応、エネルギー効率の向上・排出量削減・リサイクル可能素材への対応といった課題に加えて、「原材料費・人件費・物流費の高騰、円安や原油価格の影響などにより、食品業界を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。その中においても製品品質を維持し続けることが求められており、ユーザーと課題を共有し、共に解決策を見出していく姿勢で取り組んでいる」と説明。中部地区はものづくり発信の地であり、2026中部パックでは地域性を活かして「出品社と来場者の出会いが新たなビジネス創出へとつながる展示会にしたい」と抱負を述べた。



想像から創造へ
新たなパッケージのカタチ

CHUBU PACK

中部包装食品機械工業会2026中部パック事務局
〒453-0013
名古屋市中央区亀島2-14-10(フジオフィスビル6F)
TEL 052-452-3161
FAX 052-452-7752

公式サイト
https://chubupack.or.jp
公式サイトにお問い合わせフォームがございます。

無料入場券

●本券をご持参の方は1名様に限り無料入場できます。
●複数のご来場希望の方は本券をコピーしてご使用下さい。

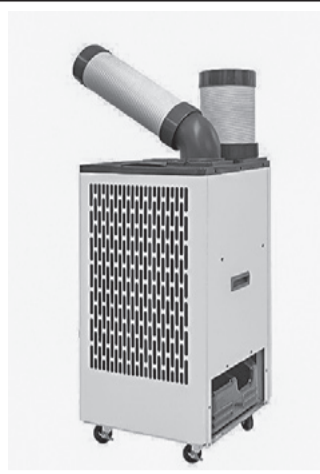
55℃の高温環境でも使用可能

「スポットクーラー 強冷タイプ」

ユニソル 5月11日より販売開始

ユニソル(社長 川古里 龍平氏、本社 大阪府中 央区)は、同社が展開する

「スポットクーラー 強冷タイプ」から「スポットクーラー 強冷タイプ」GSPC 2530を全国の機械 工真商・ECサイトにて



熱中症対策が義務化され注目製品登場

5月11日より販売開始す る。日本の夏の平均気温は 年々上昇傾向にあり、気 象庁によると、2025年 夏の平均気温は平年より プラス2.3℃と歴代 最高となった。気象庁が 2026年2月に発表

した暖候期予報による と、2026年夏(6~8 月)の平均気温が平年よ り高まる可能性は、東・ 西日本で60%と高い確率 が予想されている。さら に、総務省の調査による と、2025年の熱中症 による緊急搬送人数の累 計は過去最高の10万人超 えを記録し、猛暑の常態 化が深刻な問題となつて いる。2025年6月か

らは職場における熱中症 対策が義務化され、特に 熱中症による労働災害が 多いと言われている。製造 現場などの現場系職種で は、労働者の暑さ対策が 急務となっている。 今回発売される「スポッ トクーラー 強冷タイプ GSPC2530」 は一般的な標準機を上 回る冷房能力(2.5ノ 3.0kW)を誇る。冷房能 力が強いため、特にクー ラーメントなどの空間冷 却でもその真価を発揮す る。さらに、高温環境(周 囲温度が55℃まで)にも 対応しており、猛暑日の 工場や屋外イベントなど でも安定して稼働させる ことが可能だ。また、本 製品には新冷媒「R32」が 採用されており、大気中 への温室効果ガスの排出 量を従来よりも減らすこ とで、地球温暖化係数(GWP)を約3分の1に抑 えてくれる。冷却効率も 高く、環境保護と性能を 両立した製品となっている。 本製品を使用すること

で、暑さによる集中力低 下を防ぎ作業効率の向上 も期待できる。さらに、 熱に弱い精密機器がオー バーヒートするのを防ぐ ための冷却や、エアコン が故障した際の緊急対応 などにも使用できる。希 望小売価格は10万円(税 別)で、標準機を超えるス ペックを備えながら価格 は標準機に近い水準に抑 えられている。性能を妥 協せずに価格を抑えた、 高いコストパフォーマンス を発揮する1台だ。

パーソナルクーリングボックス

「冷えもんBOX」

トラスコ中山 4月1日発売開始

ユニソルは、2026年 1月に株式会社ジ ーネットと「株式会社マル カ」が統合して設立され た新会社だ。産業機械、 機器・工具、エンジニア リングに関する深い知見 を組み合わせた唯一無二 のソリューションを提供 し、クライアントの課題 を解決する。「その手が あったか」を、次々と「を

ユニソルが展開する「 ティ・リースナブル」を コンセプトに、高品質な 製品を手軽な価格で提供 するとともに、他にはな

ユニソルが展開する「 ライベートブランド」ギ ガ・セレクトシオンは、 ユニーク・ハイクオリ

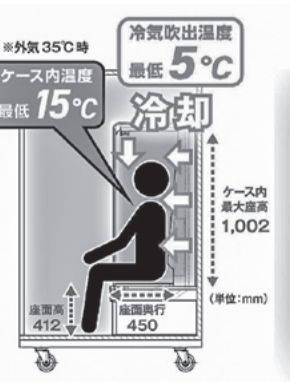
建設現場、 屋外イベン ト会場など さまざまな 環境で使用 可能な点も 嬉しいかぎ りだ。 単相100 Vのスポ ットエアコ ン(30~38 円/h)と 比較して、 消費電力料 金は15.8 円/hと約48%のコスト 削減を実現。また、20分 自動停止する「つけっぱ なし」防止機能も搭載し しており、体の冷え過ぎを 止すとともに環境負荷

独自のなコンセプトの 製品を取り揃え、多くの ユーザーに選ばれ続けて いる。

冷えもんBOXは、本 製品は最低5℃の冷風で 身体を冷却し短時間で効 率的なクールダウンを美 現。さらに、工事不要・ 100V電源対応で設置

場所を選ばず、酷暑環境 下におけるひと涼みス ポットとして、瞬時に身 体をクールダウンできる 快適空間を提供してくれ る。

最低5℃の冷風と15℃ のケース内温度により体 にももった熱を短時間で 効果的にクールダウン。 単相100V電源対応で 工事不要、キヤスター付 きのため移動も簡単。ま た、IPX3相当の防水 仕様で屋外使用にも対応 しているため、工場内や



使い方イメージ

独自の最新テクノロジーを採用

「CoroMill® MR20」

サンドビック・コロマン ト 新型ラジアスカッター

サンドビック・コロマ ントは3月2日、新型ラ ジアスカッター「Coro Mill® MR20」の 販売を開始した。本製品 は正面フライス、ポケッ ト、プランジミリングな

これまでよりも工具寿命 が延び、加工中のト ラブルも防止してくれ るという。これにより、ユ ーザーの加工部品あたりの 加工コスト低減、生産性 向上、消費エネルギーお よび工具消費量の削減と いった高い持続可能性を 提供してくれる。

カッターボディには、 チップとの接触面積を拡 大し形状を最適化するこ とで応力集中を40%以上 低減する革新的なチップ シートを採用。さらに、 チップを簡単かつ確実に 位置決めするロック機構 を組み合わせることで、 加工中のチップの微小な

動きを抑制し工具自体の ロバスト性が大幅に向上 している。その結果、より 信頼性の高い加工を実現 してくれる。切れ刃振れ 精度も従来品と比べ大幅 に改善。工具寿命の予測 可能性を高め、計画的で 効率的な工具寿命管理に 貢献してくれる。

また、高生産性のため に切削速度を大幅に上げ ることが難しいステンレ ス鋼(ISO-M)、耐熱 合金(ISO-S)の加工 においては、多刃クロス ピッチ設計により優れた 加工能力を発揮。さら に、逃げ面側からクーラ

アンダークーラント機構 (DCX50~80mm)を搭載 し、効率的な冷却性能と クーラント吐出量の増加 によって、チップの熱電 裂のリスクを最小化して くれる。 チップは、ステンレス



鋼(ISO-M)、耐熱& チタン合金(ISO-S)、鋼(ISO-P)加工 向けに最適化された新型 低抵抗「ブレーカ」を備え た片面6コーナ仕様。特許 取得済みの精密プレス技 術「フラッシュライトテ クノロジー」により、ダイ レクトプレス でありながら 研磨級と同等 の精度を実 現。さらに、 厚肉設計とす ることで耐久 損性と耐久性 が強化され、 安定した性能

を發揮してくれる。 ラインアップは、カッ ター径φ32~φ125 mm、シャンクは、アーバ 向け、円筒シャンク、Co rromant Capto、EHカップリング、ねじ式カップリングの5 種類が用意されている。 チップは、12、16mmサイ ズを展開し、鋼(ISO-P)、ステンレス鋼(ISO-M)、耐熱合金(ISO-S)向けに最適化さ れた30品目を取り揃えら れている。

本製品の詳細について は、最寄の営業所へ問い 合わせるか同社ウェブサ イトへアクセスを。

電磁誘導式ロータリーエンコーダ

「ABS OR700」

ミットヨ 2月2日販売開始

ミットヨ(社長 川沼田 ヤスケル、1975年 恵明氏 本社 川崎市高 津区)は3月より「電磁誘 導式ロータリーエンコー ダ ABS OR700」の 販売を開始した。耐水 性・耐油性に優れたコン パクトタイプで、工作機 械などに搭載するロータ リーテーブルや、工具の パッケージングに最適な ABS OR700」は開 発された。

ミットヨ製リニアエン コーダ、デジタルノギス で多数の出荷実績がある 電磁誘導式エンコーダを 採用し、耐環境性(耐水・ 耐油)に優れている。さら に、ロータリーエンコー ダの取り付けを容易にす

の販売開始以降、早くも ロータリーテーブル、 ロボットアーム、旋盤タ レット等々の回転制御、 角度制御の各分野で興味 を持たれているようだ。 発売初年度の販売目標は 1200軸を見込んでい る。本製品に関して詳し くは、同社ウェブサイト へアクセスを。ミットヨ は今後も日々進化する ものづくりの未来へ精密 測定で貢献していく。



電磁誘導式ロータリーエンコーダ ABS OR700

水まわりアイデア創出ワークショップ

公園の新たな魅力拡大図る

SANEI 早稲田大学・多摩美術大学と産学連携

SANEI(社長 西岡利明氏、本社 大阪市東成区)は3月11日から同13日までの3日間、早稲田大学・多摩美術大学の学生と「水まわりアイデア創出」のワークショップを開催した。主催は早稲田大学総合研究機構、グロバル科学知融合研究所、SANEI。

公園はその周辺の地域住民にとって「憩いの場」という大切な機能を有している。近年では自治体で遊具・休憩用等の設備の整備や安全性の確保、緑化なども進めており、公園が公共施設として年々充実されている状況である。では公園内



ワクワクするアイデアが披露された。水まわりのアイデア創出ワークショップの様子。

の「水まわりはひびく」というと、昔ながらの設備に留まっているのもまた現状である。子供や大人が憩う際にも水まわり機能も見直して魅力的なものに充実させることで、見落としとしていた公園の役割や魅力を新たに価値創出できるのではないかと、このワークショップで、早稲田大学総合研究機構、グロバル科学知融合研究所と多摩美術大学、そしてSANEIがタッグを組んで今回初めてワークショップが開催された。

最終日の午後、各チームが最終成果を発表した。いずれも素晴らしいアイデアばかりで、審査委員として参加した各校の教授やSANEIの部長らから大絶賛であった。「初めて会った人とチームを組んで、たった3日でアイデアをこまめに完成させたのはとても大変だったと容易に想像できません。しかし、どのチームのコンセプトも非常に明確で分かりやすかつたことに感心しました。この3日間のプログラムですごくたくさん学びがあったんじゃないかと思えます。人と一緒にいることの良さ、他の人にできないことを自分が補っていく、そういう良さの積み重ねが見られた3チームの3日間、ありがとうございました。このワークショップはこれで終わりですが、ぜひこれから皆さんの人生の中で、自分とは違う人と一緒に行動すること、何かをする時に手順を設計して最適な答えを導き出すことなど、今回学んだことを生かしていきけるように願っています」との総評をうけて終了した。SANEIは今後も定期的にこのようなワークショップを開催していきたいとコメントしていた。



中には新商品開発につながるようなアイデアも設計して最適な答えを導き出すことなど、今回学んだことを生かしていきけるように願っています。

健康経営優良法人2026に認定

協成 中小規模法人部門で

このたび協成(社長 堀明生氏、大阪本社 大阪市西区、東京本社 東京都中央区)は経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2026(中小規模法人部門)」に認定された。健康経営優良法人(中小規模法人部門)認定は、7年連続となる。

このことを受け、協成は「当社の健康宣言である『社員が心身共に元気に長く働ける職場を目指し、健康づくりに取り組めます』を実現させるため、今後も引き続き組織的な『健康経営』を推進し、社員の健康増進に努めます」とコメントしている。

「健康経営優良法人2026とは、経済産業省と日本健康会議が主催する制度で、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践している特に優良な法人を認定し、見える化するものである。2026年には、大規模法人部門で3765法人、中小規模法人部門で2万3085法人が認定された。この制度は、優良な健康経営に取り組む法人を社会的に評価し、従業員や求職者、関係企業などから評価を高めることを目的としている。

健康経営優良法人認定は、大規模法人部門と中小規模法人部門があり、協成は中小規模法人部門で認定された。健康経営優良法人の認定を取得することで、企業の価値向上に繋がる多くのメリットが期待できる。組織の活性化や生産性の向上、企業価値の向上などが挙げられる。



健康経営優良法人2026
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門

文・化・創・造・を
あ・な・た・と・共・に

みずほ出版

〒467-0851
名古屋市瑞穂区堀込町17-6
TEL(052)825-2011
FAX(052)822-3359
お気軽にお問い合わせください。

「地球環境保護」
企業にできる最初の一步

当社の「ハイテク研ぎ師集団」の技術は省資源に貢献しています。

株式会社 オーエヌ技研
〒441-1347 愛知県新城市川田字本宮通100番7
TEL(0536)23-5362 FAX(0536)23-5385
http://www.ongiken.co.jp

JLC CUTTING TOOL

エンドミル、ドリル、リーマーなど切削工具及び超硬素材の研究、開発等の超硬工具製造専門メーカー!!

航空宇宙産業、医療産業、自動車、鉄道、自転車、金型、機械部品、金属特殊形状加工など、台湾、中国で主に使用されています。

特に特殊寸法であるカスタマイズは短納期少量ロットに対応します。

代理店 株式会社 梅村本店
http://www.umemura-honten.jp/

本社 〒454-0822 名古屋市千川区四女子町1-27
TEL(052)352-6421(代) FAX(052)352-6430
岐阜営業所 〒500-8364 岐阜市本庄中ノ町10-28-1
TEL(058)273-9531(代) FAX(058)273-9682
浜松営業所 〒430-0801 浜松市中央区神立町130-8
TEL(053)465-5031(代) FAX(053)465-4856

Trochoid Cam Gear ランナー

加茂精工株式会社

特徴

- ◆バックラッシュゼロ
- ◆高精度
- ◆低騒音・低振動
- ◆長尺・高速化を実現
- ◆シンプルな構成
- ◆優れたコストパフォーマンス

ラック&ピニオンが進化する!

加茂精工株式会社

株式会社 加茂精工

〒467-0851 名古屋市瑞穂区堀込町17-6
TEL(052)825-2011 FAX(052)822-3359
http://www.kamo.co.jp

株式会社 加茂精工

〒467-0851 名古屋市瑞穂区堀込町17-6
TEL(052)825-2011 FAX(052)822-3359
http://www.kamo.co.jp

株式会社 加茂精工

〒467-0851 名古屋市瑞穂区堀込町17-6
TEL(052)825-2011 FAX(052)822-3359
http://www.kamo.co.jp

ガイド株式会社

名古屋本社/名古屋市中村区名駅南4-12-19 (052) 533-6705(代)
東京本部/東京都江戸川区瑞江4-39-6 (03) 3676-9111(代)
大阪本部/大阪市西区安治川1-2-8 (06) 6581-1161(代)

札幌 (011)792-8891(代)	三河 (0566)98-5075(代)
東北 (022)253-7410(代)	豊橋 (0532)62-1117(代)
郡山 (024)961-9901(代)	岐阜 (058)213-2610(代)
北関東 (027)388-9045(代)	土岐 (0572)55-6999(代)
八王子 (042)649-8570(代)	鈴鹿 (059)375-2858(代)
埼玉 (049)248-8400(代)	滋賀 (077)552-6767(代)
茨城 (029)886-3820(代)	京都 (075)602-0765(代)
神奈川 (046)230-5330(代)	阪神 (06)6480-5313(代)
宇都宮 (028)610-0540(代)	岡山 (086)206-7772(代)
新潟 (025)246-1481(代)	福山 (084)982-7255(代)
静岡 (054)281-8080(代)	広島 (082)509-1200(代)
浜松 (053)463-6831(代)	四国 (087)802-8945(代)
諏訪 (0266)58-1611(代)	福岡 (092)451-4421(代)
上田 (0268)23-3939(代)	北九州 (093)513-7555(代)
金沢 (076)238-9336(代)	熊本 (096)276-6020(代)